

主な対象疾患

1. 脳の病気

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット病、ハンチントン舞蹈病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦など）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺、正常圧水頭症、脳脊髄液減少症

2. 脊髄の病気

（視神経）脊髄炎、頸部脊髄症、頸部脊椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症、脊髄空洞症、脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、スモン、家族性痙攣性対麻痺、HAM、亜急性連合性脊髄変性症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

3. 末梢神経の病気

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性末梢神経障害、顔面神経麻痺、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トウス病、アミロイドーシス

4. 筋肉の病気

筋ジストロフィー、皮膚筋炎、多発筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリアミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、筋強直性候群、周期性四肢麻痺

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
うら しばひさ 浦 茂久 院長補佐	専門分野：神経疾患全般 日本神経学会専門医・指導医（代議員）
部長	日本内科学会総合内科専門医 プライマリ・ケア認定医 日本神経治療学会（評議員） 北海道大学医学部医学科臨床指導教授 日本認知症学会専門医 日本神経感染症学会評議員
わきた まさひろ 脇田 雅大 副部長	専門分野：脳神経内科 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 医・内科指導医 日本神経学会神経内科専門医 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医
たなか だいき 田中 大貴 医師	専門分野：脳神経内科 日本専門医機構内科専門医 日本神経学会認定神経内科専門医

ましま けいた
真島 慧太
医師

専門分野：脳神経内科

診療予定表 初診 8:00～12:00

	月	火	水	木	金
初診	浦	脇田	真島	脇田	田中
再診	田中	浦 (奇数週)	浦 (物忘れ外来)	浦 真島	脇田

診療実績（2025年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,263
外来延数	11,981
新入院数	677

診療部長よりひとこと

旭川を含めた道北地方はもとより、空知地方やオホーツク地方も一部含めた脳神経内科拠点病院として24時間体制で患者を受け入れており、神経学会専門医を含めたおよそ4名体制で診療を行っております。

パーキンソン病を含めた神経難病に対しては全ての薬物治療が可能でありデバイス療法としてL-ドパ持続経腸療法・皮下注療法や北大と連携し手術療法も可能であります。神経難病や筋ジストロフィーなどの疾患に対しては短期集中リハビリ療法も行っております。また、神経難病のみならず頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などのcommon diseaseにも全て対応可能で、認知症に関しては週1回の認知症専門医による完全予約制の物忘れ外来も行っております。また、抗アミロイドβ抗体薬も投与可能な施設となっております。自己免疫疾患に関しては血漿交換療法や大量γグロブリン療法も可能で、緊急対応も可能です。神経内科領域の治療は日進月歩で進化しており極力新規医薬品や治療法も導入に努めております。ボトックス治療も行っています。近年、開発が盛んな核酸医薬や生物学的製剤、分子標的薬なども随時導入し、使用可能です。

地域の神経内科医、他科の医師や訪問看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフとも連携し定期的にカンファレンスや研究会、勉強会も開催しており交流を深めるように努めております。当院のみで対応困難と判断した場合や患者さまの希望がございましたら北海道大学病院や札幌市内の病院ともセカンドオピニオンなどの連携も行なっております。

何か疑問点やご不明点などございましたら電話対応も可能ですので気軽にお問い合わせください。